

平成26年度横浜国立大学法科大学院法学未修者コースA日程入学試験第2次選抜
小論文試験問題（試験時間2時間）

第1問 次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。
なお、問題文は、次の文献から引用しております。
ジョン・ケイ（青木高夫訳）『想定外 なぜ物事は思わぬところでうまくいくのか？』
（ディスカバー・トゥエンティワン、2012年）
257頁4行目～263頁7行目
なお見出し、小見出し等を省略している。

【問題】

- (1) 筆者は、下線部 回り道を、目的達成のためのプロセスを意味する語として用いているが、それは、具体的に、どのような内容を持つプロセスとして考えられているか。問題文全体の趣旨を基礎として、60字以内で答えなさい。（20点）
（下線部 に該当するのは257頁10行目5字目～7字目）
- (2) 筆者は、下線部 フランクリンの言い訳を、どのような考え方を示す語として用いているか。問題文全体の趣旨を基礎として、50字以内で答えなさい。（20点）
（下線部 に該当するのは262頁13行目14字目～23字目）

第2問 次の文章は、作家の司馬遼太郎が陳舜臣と行った対談（1974年11月22日）からの抜粋である。これを読んで後の問題に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。
なお、問題文は、次の文献から引用しております。
司馬遼太郎・陳舜臣『対談 中国を考える』（文春文庫、2013年）
76頁5行目～77頁3行目
86頁15行目～87頁9行目
87頁11行目～88頁1行目
88頁9行目～88頁11行目
89頁2行目～91頁6行目
91頁8行目～91頁12行目
140頁6行目～141頁12行目
144頁3行目～146頁最終行
原文の一部を省略し、また、見出しを省略している。

【問題】

- (1) 下線部 の問いに対し、発言者（司馬）は、普遍性（普遍的文明）を理解できなければ日本人は自滅する（生存していくことができない）という趣旨を繰り返し述べている。あなたはこの考えに賛成するか、反対するか。賛成・反対を明示した上で、「普遍性」の意味を説明し、具体例を示しながら、賛成・反対の根拠を350字以上400字以内で論述しなさい。（40点）
（下線部 に該当するのは141頁1行目36字目～3行目末字まで）
- (2) 下線部 「ふるさとへ廻る六部の気の弱り」という川柳を発言者（司馬）はどのような意味のものとして理解しているか、100字以内で説明しなさい。（20点）
（下線部 に該当するのは145頁8行目2字目～15字目まで）

（以上）